

住まいづくりの先輩に聞く！

お宅訪問第2弾！『賃貸の暮らし、戸建の暮らし』

おうち探しをご検討中のみなさま。
「資料請求してみたいけど・・・」
「家探しの一歩目はどうしたらいいだろう」
「他の人はどう決めているだろう」

創建住販の家づくりだけでなく、
住まいづくりのイロイロについて、
体験談を聞いてみたい！ということで
お引渡後のお施主様を訪問。
インタビュー記事の連載第2弾！
家探しの一歩目から、現在の生活まで
教えてもらいました！



Information

〇様ご家族（ご夫妻、長男（11歳）、次男（5歳））

- 土地面積 132.00㎡（39.93坪）
- 延床面積 101.02㎡（30.50坪）
- 3LDK+畳コーナー ■構造木造 2階建て

間取り

もともとは賃貸でいい
かなって思っていました。

— 以前のお住まいは？

ご主人（以降主）：賃貸ですね。もともと私の方はあまり持家派じゃなく、賃貸でもいいかなって。でも、妻と家族が賃貸だとどうしても近所に気を使わなければいけなくて、小さい子どもがいると特にその辺をストレスに感じてたので、出来ればそういうストレスを感じない場所で生活させてあげるのがいいかなって思っていました。

奥様（以降奥）：最初は、無理しなくていいよって気持ちだったんです。でもどちらかというと主人の方がだんだんノッてきてしまってた（笑）。

主：まだまだ営業の篠原さんと知り合いを介して会ったときに、今住んでる近くであつたら教えてっていうような流れです。奥：いい物件も出てきたし、タイミングも

出来るっていうのが、あとキッチンからリビングが見えるのが、一番気に入ってる眺めかもしれない。

— 意見の食い違いはあった？

主：ありましたけど、それは妻本人がどう使いやすいかで、でもほとんどのお客さんって奥さんの意見が多い？

設：色々です。ご主人と奥様それぞれのご要望を言う方もいれば、今おっしゃってみたいにおうちの中央般は奥さんに任せるところっていう方も。

主：山内さんそういうところすごく上手な方だと思って。とりあえず一回すべての要望を聞いて、それをどうしたらいいかって一緒に考えてくれて、相談してよかつたなって思う、半分、迷わせた部分も（笑）。自信をもって背中を押されたのもあつて、迷って持ち帰って二人で迷ってても、やっぱり時間だけが経つていって分かんないよねってなる。

— 家づくりで一番楽しかったところは？

奥：どんな形になっていくのが楽しかったですよね。だから後半ちょっとさみしかったんですけど、もう打合せ無くなっちゃうんだと思う。

よかつたんですよ。

— 中古、建売は見た？

奥：少し見せていただいたけど、やっぱり自分たちが住むことをイメージをしたときに、違ふかなって思い始めた。

— どういったところが違ふと思った？

奥：生活のリズムや動線を考えた時に、注文した方が過ごしやすいのかなって。もし建売だとしたら賃貸と変わらないうえに、与えられたものに自分たちが当てはめていくっていう風になつてしまふんだから戸建の意味があまりないのかなって思ったりもしました。

— 土地と建物は並行して探した？

営業篠原（以降営）：なかなか中古や建売も無いので、土地も探し始めて、建物も、当社以外でも検討してましたよね。

奥：そうですね。家を建てるなんてそうでもないじゃないですか。どれを基準にしているか分からないので、とりあえずどういうものなのか情報だけと思つて。

主：篠原さんに相談して色々教えてもらいました。創建住販はどういうやり方をして



が無くなるので、たしかにさみしかったよね。— お子さんも当時一緒にショールームに来ていた？

奥：そうですね。すごく気に入っていて、あそこでは意外と長い時間仲良くしてくれてたんです。すごく助かつてました。

大工さんが一緒に作ってくれた、という思い入れ。

— 現場はどうでした？

主：楽しかったですよ。毎日行きました。最初は大工さんとお話してもあまりうんともすんとも言わなかつたんですけど（笑）。だんだん仲良くなって、家がどんどん出来て行つ

〇様にキャッチコピーを考えて頂きました！



営業担当 篠原 慎治

真面目に、良し悪しも言ってくれる「正直営業マン」。業界歴13年の経験を活かしお客様目線でサポートします。



設計担当 山内 聡

まずは要望を全て受け入れる「仏の山内」。理想を出るだけ叶えたい！とお客様と一緒に悩み丁寧にキャッチボールします。



編集後記

皆さんこんにちは。事業促進室の安江です。私はかなり優柔不断、洋服を脱ぐのも迷うのに、自分か家を建てる時は断然断ります。決まらないうちから想像したりします（笑）。でも、今困っている。ごまかす書き出して、お伺いしたO様の「自宅、子ども部屋には壁のステッカーが散りばめられていたり、インテリアも奥様こだわりの素敵なものばかり。建物と一緒にインテリアやカーテンなどを考えるのも、家づくりの楽しみのひとつなんだな」と感じました。自分が家を建てる時はセンス磨きのネットに出ようと思つた。当社のインスタグラムにもたくさん施工例を投稿させていた。お見



今困っていることを
ノートに書き出した。

— 初回設計打合せはどんな気持ちだった？

主：もうわくわくでした。なんとなく想像しているものがどんなふうになつていくんだろうな。僕の場合は、だんだん打ち合わせをしていくうちに、欲とか金額とか関係なく暴走していつてる自分がいた

て、一緒になつて作つてくれたっていう思い入れはすごくありますね。誰が作つてると人が見えた方が僕はよくて、見に行くのは大事だなって。

— 気に入つてるところは？

主：リビングのテラス側の窓を大きくしたので陽しがいっぱい入って、ダイニングから外を見るのが気持ちいいですね。

ああ、やっぱり家いいなあって。

— 戸建てよかつたと感じたことは？

奥：子どもたちが暴れたら放題暴れて、前はすごく気が引けてたんです。気を使いながら暮らしていたんですけど、今はもうのびのびしてるかなって気がしています。

主：自由に落ち着いて、自分たちがやりたいように暮らせるっていう安堵感がすごくありますね。

奥：この夏、テラスにプールを出して子ども達を遊ばせられたのが、私の中ではすごく満足しています。やっぱり賃貸とかだとなかなかプール出したりできなかったの



— お子様の反応は？

奥：最初は前の家がいいから引越したくないって言ってたんですけど、だんだん出来上がるのを見てたらわくわくして、実際住んだらお友達呼んできたって。お兄ちゃんおうちに入つてる。

で。
主：その時ほんとに、ああやっぱり家いいなあって。家建ててよかつたなっていう優越感がありました。借金してよかつたよって（笑）